



絵 橋本豊治

天平十五年（七四三）年近江国紫香楽宮において毘盧遮那大仏建立の詔を発布  
天平勝宝四年（七五二）孝謙天皇の代に東大寺で大仏開眼供養が行われた。

### 聖武天皇と鎮護国家思想

# 高尾山物語 ①

高尾山薬王院有喜寺は寺伝によると、今から一二七〇余年前の天平十六年（七四四）に、第四十五代天皇、聖武天皇の勅命により東国鎮守の祈願寺として、行基菩薩により開山されたと伝われます。  
聖武天皇は深く仏教に帰依されており、仏教には国家を守護・安定させる力があるとす  
る「鎮護国家」という考えを持っておりました。仏教を民心安定の拠り所とするため、各国府ごとに国分寺、国分尼寺を建立、また総国分寺である奈良東大寺に大仏（毘盧遮那大仏）の造立を行うことで、仏教を国家統合の象徴とすることを目指しました。

あまたのうたと  
考えすぎず  
一念発起  
してすすめ

## 高尾山の昆虫

### エサキオサムシ

103



ケールカー高尾山駅からの眺めは一服の清涼剤との趣がありますが、ある時期から圏央道が開通しその美観が損なわれたような思いがします。  
そして高尾山の動植物の生態系に、多分な影響を与えていることは否定できないでしょう。  
オサムシやゴミムシ等の歩行虫の数が大分減ったように実感しますが、これはトンネルの影響で乾燥化が進んだためと判断しています。

高尾山には数種のオサムシが生息していて、以前よく見かけたクロナガオサムシの姿を近年まったく目にしなくなりました。そんな中で今でも健在なのがエサキオサムシです。  
クオオサムシ関東西部亜種とされ、丘陵から山地でよく見られる種で、以前はヒメオサムシと呼んでいました。  
小型種ながら赤銅色の強い金属光沢があり、時に黒緑色をした個体も現れます。  
夜行性で敏速且つ活発に歩き回り、小昆虫、ミミズ、カタツムリ等を好んで食べる肉食性ですが、昼間でも見かけることが少なくありません。

高尾を代表する歩行虫であり、四月頃から忙しそうに歩き回る姿に出会えます。  
(撮影・文 松島 孝)

### おはなし散歩道

## 小さなこいのぼり

柏市 木村 研

幼稚園バスから、小さなこいのぼりを持った蓮くんが下りてきました。  
お母さんが、「かわいいね」というと、  
「ぼくが作ったんだよ」と、うれしそうに言いました。

蓮くんのうちは、高尾山の麓にあります。山から吹いてくる風をうけて、庭のこいのぼりが、気持ち良さそうに泳いでいます。

蓮くんは、小さなこいのぼりを、二階のベランダにつけました。  
小さなこいのぼりは、「気持ちいいなあ」と、泳ぎはじめました。  
すると、  
「じゃま、じゃま」と、頭の上で大きなこいのぼりがいました。  
「あぶないなあ」

と、小さなこいのぼりがいうと、大きなこいのぼりたちは、  
「生意気なメダカね」と、言いました。  
「メダカじゃないよ。蓮くんが作ってくれたこいのぼりだよ」  
日曜日、蓮くんは、お父さんとお母さんと一緒に高尾山にハイキングにきました。

蓮くんは、年長さんです。お父さんと一緒に麓から、歩いて上ることにしました。  
蓮くんのうちのベランダからは、登山道登っていく蓮くんが見えます。  
小さなこいのぼりは、うれしくなって、  
「おーい」と、声をかけました。  
そのとき、  
「じゃまじゃま」と、大きなこいのぼりが

大きなしつぽをふって泳ぎ始めました。  
「あつ。じゃまだよ。どいて」  
と、小さなこいのぼりが言うと、大きなこいのぼりたちは、  
「ちびだから見えないのよ」「かわいいそうね」と、口々に言いました。  
小さなこいのぼりは、悲しくなりました。  
「見えるさ。蓮くんが、連れてってくれるっていつも」  
それなのに、蓮くんは気がつきません。どんどん登山道を上っていきま

小さなこいのぼりは、もう一度、  
「蓮くん」と、声をかけました。  
その時です。急に強い風が吹いて、こいのぼりをつないでいた糸が、プツンと切れました。  
小さなこいのぼりは風につれて、どんどん飛んで行ってしまいました。  
「かわいいそうね」  
大きなこいのぼりは、



笑いながら言いました。  
そんなこととは知らない蓮くんは、やっと見晴らしのいい高台まで上ってきました。  
汗びっしょりです。  
肩で息継ぎをしていると、蓮くんの足もとに、ふわふわと小さなこいのぼりが下りてきました。  
「ぼくのこいのぼりだ」  
蓮くんは、目をまるくして、  
「追いかけてきたの？」と、聞きました。  
「うん」  
「そんなら一緒にいこう」  
蓮くんは、背中のデイバックに、小さなこいの

ぼりをくりつけて、また、歩きました。  
蓮くんとお父さんは、薬王院でお母さんと待ち合わせて、それから急な石段を上っていきま

山頂は、もうすぐです。  
「ほう。こいのぼりと一緒に、いいね」  
「がんばれよ」  
と、いろんな人が声をかけてくれます。  
蓮くんも小さなこいのぼりは、山頂まで上って、一緒に富士山を見ました。  
「わー。きれいだなあ」  
「気持ちいいねえ」  
(おわり)  
(さし絵・小出 茂)